

テーマ：アイヌの人たちの歴史・文化等（実践校）

釧路管内 弟子屈町立和琴小学校

■本実践のポイント（概要）

- ・ふるさと北海道に対する愛着や誇りを育むため、探究的な学習の過程に屈斜路古丹ウポボ会の講師による講話、アイヌ文化体験教室等を位置付け、アイヌの人たちの歴史や文化について理解を深める学習活動を展開しました。

■ふるさと教育・観光教育の実践内容

①取組の様子

(1) 課題の設定

「北海道ふるさと教育指導プログラム」を活用するとともに、屈斜路コタンアイヌ民族資料館の見学を通して、アイヌの人たちの歴史や文化等に対する興味・関心を高め、「アイヌの人たちの食べ物について調べ、アイヌの人たちの伝統料理を調理してみよう」という課題を設定しました。

(2) 情報の収集

課題解決に向け、外部講師へのインタビューをしたりアイヌ文化体験教室で実際に伝統料理を調理したりしました。

(3) 整理・分析

児童は、調べたり体験したりしたアイヌの人たちの伝統料理と今の自分たちの料理を比較することにより、アイヌの人たちの自然に対する考え方や文化について理解を深めました。

(4) まとめ・表現

プレゼンテーションソフトを使って、調べたことや考えたことをまとめて発表し、友達と感想や意見を交流することにより、アイヌの人たちの歴史や文化の特色やよさに気付くことができました。

②児童の感想等

- ・アイヌの人たちは自然の恵みを大切にしていることが分かりました。
- ・イモの取り残しを春まで凍らせておいて保存しておくという工夫に驚きました。
- ・アイヌの人たちの料理の名前とおいしさを知ることができてとても楽しかったです。これからもアイヌの人たちの料理を作ったり、アイヌの人たちの歴史や文化について調べたりしたいと思います。



【調理体験の様子】



【まとめで作成した資料】

■取組の成果（○）と課題（●）

- アイヌの人たちの歴史・文化等に係る学習についてのアンケートでは、「アイヌの人たちの歴史や文化についてもっと調べたい」と回答した児童が100%になるなど、アイヌの人たちの歴史や文化に対する興味・関心を高めることができました。
- 今年度の取組を次年度以降も実施し、児童が主体的に学び理解を深めるために、自校のふるさと教育の指導計画を教科等横断的な視点で見直していく必要があります。